

スターゼン株式会社様

設備停止リスクの低減と計画保全を実現。 スターゼン松尾工場がAssetWatchで進める予知保全の取り組み



※写真は工場内のイメージです。

ハンバーグなどの加工食品を製造するスターゼン株式会社 松尾工場では、生産を支えるユーティリティ設備や冷凍加工設備の保全強化に向けてAssetWatchを導入しました。設備停止による生産・品質への影響を未然に防ぐため、設備状態の常時監視と予兆検知の仕組みを構築。AssetWatchの特長である振動分析の専門家であるCondition Monitoring Engineer（以下、CME）による分析支援を活用しながら、事後保全中心の運用から予知保全・計画保全への転換を進めています。

スターゼン株式会社



目的

生産を支えるユーティリティ設備・冷凍加工設備の状態を常時把握し、設備停止による生産・品質への影響を未然に防ぐ。

ソリューション

屋外ユーティリティ設備・冷凍加工設備にAssetWatchを導入。振動・設備状態データを可視化し、CMEの監視・分析サービスを活用。

効果

給水ポンプの振動上昇を早期に検知し、故障前にベアリング交換を準備。予知保全への転換を実現。

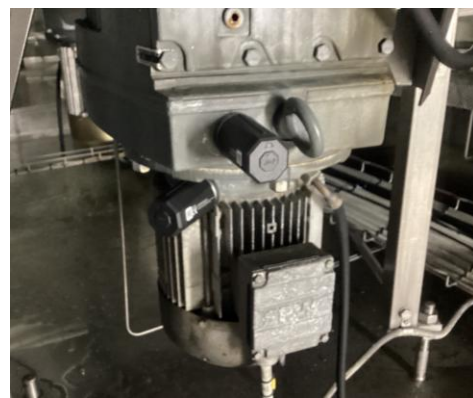
導入前の課題

松尾工場では、生産を支えるユーティリティ設備や冷凍加工設備の安定稼働が重要な課題となっていました。長時間の連続運転や衛生管理の観点から停止・分解点検が難しい設備も多く、屋外設置などの環境要因もあり日常的な状態確認は容易ではありません。

導入の背景・決め手

過去にはモーター故障で生産ラインが半日以上停止した経験があり、設備状態を常時監視し、故障を未然に防ぐ仕組みを検討する中で、AssetWatchのトライアルを実施。工場の生命線である給水ポンプの異常を早期に検知できたことが導入の大きなきっかけとなりました。

実際の設置写真



そのため、設備状態の把握は定期点検や巡回確認に頼らざるを得ない状況でした。設備トラブルが発生した場合、生産計画への影響だけでなく品質面へのリスクも伴うため、異常の兆候を早期に把握し計画的な保全につなげる仕組みが求められていました。一方で、限られた人員で多くの設備を管理する必要があり、設備の信頼性向上と保全業務の効率化の両立が課題でした。

一般的な設備監視サービスでは学習期間が必要なケースもありますが、AssetWatchはセンサー設置直後から設備状態を確認できる点が大きな魅力でした。単なる可視化にとどまらず、CMEの分析・アドバイスまで受けられる点は三井情報ならではの価値であり、現場に寄り添った迅速なサポートも決め手となりました。

提案内容・活用内容

屋外ユーティリティ設備を対象にAssetWatchを導入し、活用範囲を拡大

松尾工場では、まず屋外ユーティリティ設備を対象にAssetWatchを導入しました。取得した振動データや設備状態データはダッシュボード上で可視化され、設備状態を遠隔から確認できるようになっています。あわせて、振動分析の専門家であるCMEによる監視・分析サービスを活用し、異常兆候の把握や保全計画の立案に役立てています。現在では活用範囲を拡大し、低温・高湿度環境という過酷な条件下で稼働する冷凍加工設備にも適用。導入後1年以上にわたり安定運用を継続しています。

導入後の効果・成果：事後保全から予知保全へ

従来、設備状態の確認は現場巡回や定期点検が中心でした。AssetWatch導入後はダッシュボード上でいつでも設備状態を確認でき、振動分析の専門家であるCMEが状態変化を常時監視する体制が整いました。異常の兆候や注意すべき変化が検知された際には、定期レポートに加え、重大な兆候は速やかに連絡・助言が行われ、現場の監視負担を抑えながら設備の状態把握が可能になっています。

保全の進め方も変わりました。従来は異常発生後に原因を調査する事後保全が中心でしたが、導入後は異常の兆候を早い段階で把握できます。例えば、給水ポンプの振動上昇についてCMEから通知と助言を受けた際は、社内確認でベアリングが長期間交換されていないことが判明し、故障前に交換準備を進めることができました。判断に迷う場面でもCMEの見解や推奨対応をもとに、優先順位をつけた計画保全が可能になっています。

お客様のコメント



CMEの支援を受けながら、設備保全の高度化へ

「AssetWatchを導入したことで、設備状態を常時把握できる環境が整いました。特に、設備異常の兆候に対し、振動分析の専門家であるCMEから分析やアドバイスを受けられる点を高く評価しています。実際に給水ポンプの振動上昇を早期に把握できたことで、故障前に対応を検討することができました。単なる設備の監視にとどまらず、データに基づいた保全判断のアドバイスまで受けられる点は、三井情報ならではの価値だと感じています。設備状態の判断に迷う場合でもCMEから助言を得られるため、保全業務の意思決定がしやすくなっています。今後も設備保全の高度化に活用していきたいと考えています。」

スターゼン株式会社 松尾工場 ご担当者様



スターゼン株式会社

所在地 東京都港区港南2-4-13 スターゼン品川ビル
設立 1948年（昭和23年）6月17日

従業員数 2,807名（2026年3月時点）
URL <https://www.starzen.co.jp/>

スターゼン株式会社は、1948年の創立以来、食肉業界のトータルサプライヤーとして、安全・安心で高品質な食肉および加工食品の開発・製造・販売を手掛ける食品加工メーカー。国内外に事業を展開し、調達から生産、加工、物流、販売までを一貫して担う体制を強みに、日本の食文化を支えている。グループ経営理念である「食の感動体験を創造することで世界中の人々と食をつなぎ続ける」のもと、多様化する消費者ニーズや社会課題に対応しながら、持続可能な食の供給と新たな価値創出に取り組んでいる。

※三井情報、MKI及びロゴは三井情報株式会社の商標または登録商標です。※このカタログに記載されているその他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

MKI 三井情報

www.mki.co.jp

〒107-0062 東京都港区南青山三丁目8番35号 表参道Grid Tower

【本製品サービスに関するお問い合わせ先】

DX第一営業部 第一営業室

AssetWatch担当

E-mail : aw-sales-dg@mki.co.jp